

平成二十九年三月二日開会

平成二十九年年度池田町一般会計予算、特別会計予算

並びに企業会計予算提案説明要旨

平成二十九年度の町政に取り組む施政方針及び一般会計・特別会計並びに企業会計についてご説明申し上げます。

現在、世界経済は回復基調にあり、日本経済についても緩やかに回復しているところです。個人消費は持ち直しの動きが続いており、実質雇用者所得は緩やかに増加し、新車販売台数には明るさが見られる状況であります。先行きについても雇用・所得環境が改善するなかで緩やかに回復していくことが期待されます。輸出に関しては、アジア向けの輸出が良くなっていることから、全体として持ち直しの動きが見られます。先行きについても、世界経済の回復を背景として緩やかな回復基調が続くことが期待されます。こうした状況の中、政府は一億総活躍社会の実現に向けて働き方改革や女性の活躍の推進、保育や介護と仕事の両立、持続可能な社会保障制度の構築に取り組むこととしています。

一方、県内経済に目を向けると、生産面では輸送機械や金属製品を中心に持ち直しの動きが見られ、雇用面では多くの業種で人手不足感が拡大しておりますが、総じて改善傾向にあります。

このような経済情勢のほか、町をとりまく環境に係る大きな変化として、養老鉄道の新形態への移行があります。既に報道等で明らかになっているとおり、(株)養老鉄道を第二種鉄道事業者とし一般社団法人養老線管理機構を第三種鉄道事業者とする新しい運営形態に本年中に移行することとなります。これにより町の負担が増えることが想定されますが、地域の足として、しっかりと支えていきたいと考えております。

また、今年度は移住定住対策に重点を置いていきたいと考えております。具体的には町内の空き家を取

得して居住していただく方には、五年間固定資産税を免除するほか、改修費の一部を助成します。なお、居住者のなかに子どもがみえる場合は、一人につき二万円を加算することとします。さらに、宮地地区にあつては空き家ばかりでなく、新築による居住であつても固定資産税を免除するなどの優遇措置を設けることとしております。

そのほか、町全体としましては、地方創生総合戦略等に基づいて町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針ですので、議会におかれましてもご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町の平成二十九年度予算規模についてですが、

一般会計

八十一億九千二百万円

国民健康保険特別会計

二十八億三千八百万円

後期高齢者医療事業特別会計

二億五千二百万円

農業集落排水事業特別会計

三億七千八百万円

公共下水道事業特別会計

八億六千六百万円

温泉施設特別会計

二億七千二百万円

で、総額百二十七億九千八百万円の前年対比十三億一千二百万円（九・三％）の減としました。

それでは、町の重要施策と予算の概要についてご説明申し上げます。

初めに一般会計についてご説明申し上げます。

歳入については、町税のうち町民税では、景気の持ち直しを反映して、法人町民税の増加が見込まれ、前年対比で〇・九％増の十二億五百七十四万一千円を計上しました。

一方、固定資産税については、町内企業の償却資産が減少することにより前年対比で一・七％減の十五億一千七百八十七万一千円と見込んでいます。この結果、町税全体の予算は、前年対比で〇・六％減の二十九億五百九十七万一千円を計上しました。

また、（仮称）池田町大野町学校給食センター建設の完了に伴い、国庫支出金につきましては、前年対比二十八・五％減の六億七百八十七万四千円、分担金及び負担金につきましては、前年対比六十九・六％減の二億二千五十二万二千円を計上しました。

地方交付税につきましては、前年と同額を見込み、普通交付税については十四億七千万円、特別交付税については一億一千万円を計上しました。

寄附金につきましては、ふるさと納税の前年実績を反映して、前年対比百四十八・五％増の五億三百六十六万九千円を計上しました。

町債につきましては、学校給食センターの建設事業及び温知小学校、八幡小学校の空調設備設置事業に係る学校教育施設等整備事業債が減少することから、前年対比四十三・一％減の五億一千九百九十万円を計上しました。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金で二億円、ふるさと支援まちづくり基金繰入金で一億五千三百万円を計上しました。

それでは、歳出について申し上げます。

総務行財政関係では、平成二十七年度から三カ年計画で実施している防犯灯のLED化事業を継続してまいります。三カ年計画となっておりますので、今年度中に事業を完了させる予定です。統一的な基準に

よる地方公会計整備事業につきましては、固定資産台帳の更新や新地方公会計システムの運用を行います。土地開発公社との関係では、公社の経営健全化計画に基づいて、北部工業団地事業用地及び草深願成寺住宅団地用地の取得を行います。これらに関する予算として、五億一千八百九十三万四千円を計上しました。

次に、消防防災関係では、自主防災組織の活動支援及び防災拠点整備事業を実施し、地域住民の防災意識の向上に努めることとし、これに関する予算として三億二千八百七十九千円を計上しました。

次に、公共交通関係では、一般社団法人養老線管理機構に対する負担金等で六千六百八十五万八千円の予算を計上しました。また、コミュニティバスの運行事業については、引き続き巡回線、北回り線、南回り線、役場市橋線を運行することとし、これに関する予算として一千九百九十五万六千円を計上しました。なお、コミュニティバスについては、本年度中に利用者が十万人を超える見込みとなっております。

次に、交通安全関係では、出会い頭の事故防止や高齢者の事故防止に向けて交通安全教室を開催するなど啓発活動を実施することとしており、これに関する予算として九百九十三万五千円を計上しました。

次に、地方創生関係では、改修工事を終えた池野駅駅舎を利用したまちづくり工房「霞溪舎（かけいしや）」の運営や100歳まで働ける「BABABAラボ岐阜池田」創出事業の支援などを行ってまいります。次に、地域活性化関係では、町民に浸透してまいりました町のマスコットキャラクター「ちゃちゃまる」を活用し、更なる池田町のPRを行ってまいります。また、町外の多くの皆様から寄附をいただいております。また、町外の多くの皆様から寄附をいただいております。

次に、広報関係では、「広報いけだ」と社会福祉協議会の「しあわせ福祉」及び県広報の統一発行を続け、住民に親しみ易く、読みやすい広報誌づくりに心掛けてまいります。また、ホームページやツイッタ

一を一層活用して、情報を発信することとし、これらに関する予算として五百六十六万三千円を計上しました。

情報管理の関係では、町が保有するネットワーク・情報機器の維持管理を適切に行い、情報資産に対するセキュリティ強化にも努めることとし、七千五百九十四万二千円の予算を計上しました。

次に、税務関係では、町税等賦課事務電算業務委託事業に九百三十五万一千円、土地家屋の現況調査及び土地評価委託業務に九百十三万四千円の予算を計上しました。

次に、戸籍住民関係では、個人番号カードについて、利活用が検討され本年より順次実施されますので、引き続き個人番号カードの普及・交付に努めるとともに、戸籍・住民基本台帳制度を円滑に運用してまいります。また、本年度は、地域人権啓発活動活性化事業として人権啓発講演会の開催などを実施することとし、これらに関する予算として四千九十三万三千円を計上しました。

次に、環境関係では、(仮称)南部リサイクルセンター建設事業として実施設計業務の委託料六百四十八万円などの予算を計上しました。

次に、社会福祉関係では、地域活動支援センターの運営や日常生活用具の給付等を行う地域生活支援事業に二千二百十万円、障がい者の介護支援や就労支援を行う自立支援給付事業に二億三千五百五十万円、障がい児の発達支援や放課後等デイサービス事業を行う障害児福祉サービス事業に四千九百五十一万八千円、同窓会支援などを行う若者コミュニティ活性化事業に五十四万円、十八歳以下の子どもや重度心身障害者等の医療費を負担する福祉医療扶助事業に二億三千七百五十万五千円の予算を計上しました。

次に、児童福祉関係では、新しい給食センターで保育園給食が行われることに伴い、各保育園に給食搬

入口を設ける工事に一千四百四十万一千円の予算を計上したほか、放課後児童クラブ運営事業に二千三百九十五万九千円、児童館運営事業に千五百九十七万二千元、児童手当事業に四億三千五百六十五万八千円、ことばの教室の運営事業に四千四百六十九万七千円などの予算を計上しました。

次に、高齢福祉関係では、長寿をお祝いするための長寿者褒賞事業、七十八歳以上の方を対象とした敬老会事業、老人クラブへの活動助成、養護老人ホームへの入所措置、徘徊高齢者家族支援サービス事業及び独居高齢者世帯等への緊急通報システム設置事業などを実施することとし、これらに関する予算として五千九百三十四万五千円を計上しました。

次に、母子保健関係では、母子保健推進員によるこんにちは赤ちゃん訪問を実施し、様々な悩みを聞き、子育てに関する情報提供をするなど子育て支援体制を整えてまいります。また、良好な妊娠出産ができるよう、定期的な妊婦健診の受診を推進していくとともに、高額な医療費がかかる不妊治療につきましては、費用の一部を助成し、経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図ってまいります。これらに関する予算として二千四百五十万四千円を計上しました。

次に、成人保健関係では、がん検診の受診率向上を図るため、特定の年齢の方に無料クーポン券を交付することとします。また、健康増進事業として、肝炎ウイルス検診・歯周病検診及び骨粗鬆症検診を引き続き実施してまいります。さらに、特定健診につきましては、未受診者に対し積極的に受診勧奨を行うとともに、受診者に対しては、結果に応じて保健指導を行い、生活習慣病予防を図ってまいります。これらに関する予算として二千六百七十一万一千円を計上しました。

次に、予防事業関係では、乳幼児の予防接種をはじめ、予防接種法に基づく予防接種を従来どおり実

施することとし、これに関する予算として五千六百五十九万九千円を計上しました。

次に、農業振興関係では、本年度池田町が岐阜県茶業振興大会の当番町となることから、茶総合品評会での上位入賞に繋がるよう、出品茶づくりの支援を行うほか、更なる品質向上による消費拡大、美濃いび茶のPRを行ってまいります。また、農道や水路などの地域資源を守る環境保全を推進することとし、これらに関する予算として一億五千百十九万九千円を計上しました。

次に、林業振興関係では、池田の森地内で広葉樹の植栽等を引き続き行い、森林環境の整備を進めます。また、池田山を活用した林業体験事業、間伐体験活動なども実施し、これらに関する予算として一千三百九十九万三千円を計上しました。

次に、観光振興関係では、霞間ヶ溪花畑植栽工事や霞間ヶ溪公園のトイレ改修、池田山眺望看板の更新等の観光施設を整備するほか、レンタサイクルを活用した「池田まるっと体験交流ツアー事業」を実施して観光客の誘客を進めます。また、「町民による池田の魅力発信事業」として、引き続き町民の方の情報に基づくオリジナルの観光情報冊子を作成します。これらに関する予算として三千七百六十四万円を計上しました。

そのほか、「西美濃広域観光推進協議会」や「西美濃夢源回廊協議会」といった広域観光の取組を活用して、中京・関西方面などの旅行会社などへの観光PR活動も実施してまいります。

観光事業に関連して、道の駅池田温泉の関係では、開駅から約五年八ヶ月が経つ中、これまで以上に池田温泉利用者の取り込みを図りつつ、各種イベントの実施やメディアによるPRを充実させていきます。また、周辺道の駅とのスタンプラリーや趣向を凝らしたデザインの道の駅切符の販売などにより道の駅マ



ニアの誘客を図ります。さらには、子ども遊び広場に設置してある電動遊具を活用した家族連れの利用者を増やすなど、さまざまな取り組みにより町の観光拠点、地域振興施設としての役割を充実させ、年間三十六万人の利用者数を目指します。

具体的には、レンタサイクルの駐輪場として屋根を設置するほか、道の駅開駅六周年の記念イベントを実施することとし、これに関する予算として二千六百八十四万円を計上しました。

次に、農業農村整備関係では、町単独施工による農道及び農業用排水路等の維持補修・改良などの整備を、地区ごとに精査選別しながら順次実施してまいります。県単独補助事業では、農道整備事業及びかんがい排水事業、快適なふるさとづくり事業にて基盤整備を実施してまいります。また、県営農村環境整備事業では、宮地地区の小水力発電について引き続き建屋や外構工事を施工するほか、発電設備設置工事にも着手する予定です。県営農道施設強化対策事業では、揖斐中部三期地区として広域農道の一部路面改良や橋梁の橋面補修工事が行われます。さらに、県営農村振興整備事業では、関係土地改良区と連携を図りながら農業用排水路の補修・改良が進められます。これらに関する予算として一億三千六百九十六万円を計上しました。

次に、林道関係では、町単独による維持補修を実施するほか、県単独補助事業の林道池田明神線開設事業では、引き続き約三百メートルの改築工事を実施します。これらに関する予算として二千八百四十二万円を計上しました。

次に、土木関係では町道の維持補修や主要な橋梁の点検業務及び修繕などに八千八百九十五万三千元、社会資本整備総合交付金事業に六千五百五十万円、都市再生整備計画事業に一千八百万円の予算を計上しま

した。また、道路新設改良事業のアスファルト舗装と集落内生活道路として重要な路線の道路改良に七千二百二十二万円、排水路の改良・維持修繕及び一級河川の草刈りに四千七百七十六万三千円の予算を計上しました。

なお、近年増え続けている空き家等に対し、効果的かつ効率的な対策を実施するため、本年度中に実施計画を策定し、有効な空き家対策の推進体制を構築してまいります。

次に、地籍調査関係では、新たに小寺北地区の一筆地調査、小寺南地区の事前調査を進めることとし、これに関する予算として一千六百九十二万九千円を計上しました。

次に、学校教育関係では、引き続き小中高一貫した福祉教育及び外国語教育を推進してまいります。具体的には、池田版体験キャリア教育開発推進プロジェクト事業に五百九十一万二千元、中高生の海外派遣や外国語講師等の配置を行う外国語活動推進事業に一千八百九万円、小学校に特別支援学級支援員や特別支援教育アシスタントを配置する特別支援教育支援事業に二千二百二十九万一千円、小学校の少人数学級（指導）支援事業に九百三十八万八千円、中学校の教育支援事業に六百五十八万七千円の予算を計上しました。

また、八幡小学校の南側に新たな駐車場一千二百二十七㎡を造成し、学校行事や地域行事、児童の引き渡しの際に活用してまいります。

次に、池田町大野町学校給食センター関係では、本年九月の稼働開始を目指して調理用備品、施設備品及び配送車を購入することとし、これに関する予算として一億三千七百万七千円を計上しました。

次に、生涯学習関係では、中央公民館や地区公民館等で二百五十五の講座・教室を開講して、町民皆さ

んの生涯学習の振興を図ることとし、青少年育成関係では、青少年育成推進員・少年補導員を中心とした町内パトロール等を実施することとし、家庭教育関係では、保育園、小学校、中学校のそれぞれの親子を対象とした家庭教育学級を開催することとし、文化財保護関係では、郷土資料の収集、調査等を進めてまいります。これらに関する予算として一億四千二百六十四万三千円を計上しました。

次に、体育関係では、二十七年度に引き続きバドミントン日本リーグ池田大会を開催することとし、これに関する予算として五百四十万円を計上しました。

次に、国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。

国民健康保険制度は、平成三十年から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、市町村は、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業等地域におけるきめ細かい事業を担うこととなります。池田町では、少子高齢化等の影響により、国保の年齢構成は高齢者の占める割合が大きくなり、それに伴い医療費も増加しております。このような中、今年度は、国保税の保険料率を改正し、保険税で十パーセント弱の引き上げをお願いさせていただき、その上で国庫支出金や療養給付費等交付金及び前期高齢者交付金など、現時点で見込み得る歳入を計上しております。一方、歳出につきましては、医療費の状況を勘案し、保険給付費を前年度比二・一％増の十七億一千四百四十五千円とし、予算総額でも前年度比一・五％増の二十八億三千八百万円を計上しました。

なお、町としましては、町民の方の健康意識の向上を図るとともに、生活習慣病対策であります特定健康診査事業を実施してまいります。

次に、後期高齢者医療事業特別会計についてご説明申し上げます。

岐阜県後期高齢者医療広域連合における保険料率は前年度と同一ですが、保険料軽減特例の見直しと、5割軽減及び2割軽減の所得判定基準の見直しが行われます。市町村においては保険料の徴収や各種申請、届け出の受付などの窓口業務を行ってまいります。また、保健事業としましては、引き続き岐阜県後期高齢者医療広域連合より受託し、生活習慣病の早期発見・早期治療のため、ぎふ・すこやか健診を実施すると共に、歯や歯肉の状態及び口腔清掃状態のチェックを行い、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、健康増進を図るため、ぎふ・さわやか口腔健診を実施いたします。これらに関する予算として二億五千二百万円を計上しました。

次に、農業集落排水事業特別会計についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、七処理区が供用されており、生活環境の向上と公共用水域の水環境の再生・保全に寄与しております。これに関する予算として三億七千八百万円を計上しました。

次に、公共下水道事業特別会計についてご説明申し上げます。

公共下水道事業につきましては、平成十五年四月から供用開始された池田処理区が、平成二十八年度末には四百七十六・二ヘクタールが整備され、進捗率は六十九・七%となります。本年は、本郷地域の管渠布設整備を進めてまいります。また、本年一月末現在で接続率は約五十六・九%の状況であります。公共ますへの接続を積極的にお願いし、池田浄化センターの維持管理とあわせて下水道事業の健全経営に努めてまいります。これに関する予算として八億六千六百万円を計上しました。

次に、温泉施設特別会計についてご説明申し上げます。

池田温泉は、十八府県、二百の温泉施設による「温泉シーラリィゆらん」の最新ランキングで総合八位、特に泉質では昨年に続き一位となりました。岐阜県内の温泉施設においても、昨年に続き総合四位、泉質一位と、お客様から高評価をいただいております。今年度は、入浴利用者総数一、〇〇〇万人の早期達成と年間入浴者総数五十四万人を目標とし、今後も施設の整備・点検、お客様サービスの充実を一層進めながら、集客確保に努めてまいります。

主な事業内容としましては、本館の監視カメラの交換工事を行います。お客様サービスでは、元旦の特別営業をはじめ、特別記念イベントとして来館者一、〇〇〇万人の達成、本館は二十一周年、新館は十五周年の記念イベントを実施するなど、各種イベント・サービスの充実に努めてまいります。これらに関する予算として二億七千二百万円を計上しました。

次に、水道事業会計についてご説明申し上げます。

水道事業は、将来にわたって安定的な事業の継続が必要な生活に不可欠なライフラインであることに鑑み、水道事業経営の安定を図るため、本年度より北部簡易水道並びに南部簡易水道を上水道へ統合して一元化し、これまで以上に安全で良質な水の安定供給を図ると共に、経営の効率化を進めてまいります。これらに関する予算として収益的収入に三億八千五百六十五万五千円、収益的支出に三億六千五百九十六万七千円、資本的収入に三千五百二十九万円、資本的支出に二億六千四百二十三万五千円をそれぞれ計上致しました。

以上、議第二十号から議第二十六号まで一括提案申し上げます、平成二十九年度の町政に取り組む施政方針及び、一般会計・特別会計並びに企業会計予算の提案説明と致します。